

授業科目名	学習・発達論	選択	開講年次	3	単位数	2
科目区分	教職に関する科目（教育の基礎理論に関する科目）					
サブタイトル	発達観と教育観を伝える	担当者	丸橋 唯郎			
講義概要	<p>【概要】一般に学習とは、経験によって新しい行動傾向を獲得したり、既存の行動パターンに熟達したり、あるいはそのような行動の変化を可能にするような内的過程を獲得したり組織化、再組織化したりすることをいう。他方、発達とは、人間の個体発生の過程に焦点をあて、受胎から死に至るまでの人間の心身における形態や機能の成長と変容の過程をさす。こうした諸概念に従って本講義では、学習が人間の発達に及ぼす影響について検討する。</p> <p>【到達目標】受講者が精確な発達観、教育観を生徒に伝えられる能力を身につける。教員採用試験突破の知識を獲得する。</p>					
履修条件	教育原理、教育心理学、教職論の単位認定者で、3年次以降の者。(教育)心理学、精神医学に深い関心をもつ者。					
教科書・参考書	<p>【教科書】 担当者がレジュメと資料を用意する。</p> <p>【参考書】</p>					
授業回数	内容					
1	発達の定義					
2	発達の要因と研究方法					
3	一般的な発達段階区分と各段階の特徴					
4	特殊な発達段階理論					
5	身体発達と社会性の発達					
6	知的発達と言語の発達					
7	学習の定義					
8	経験説と認知説					
9	外発的動機づけと内発的動機づけ					
10	社会的動機づけ					
11	全習法と文習法					
12	集中法と分散法					
13	記憶の分類					
14	再生的思考と拡散的思考					
15	精神医学と発達					
評価方法	出席、小テスト、課題レポート、教職教養テストで評価する。					
評価基準	全出席が前提。① 毎回のチェックテストの言葉、内容を理解している、という要件の中で、8割以上なら A か B、7割前後なら C、5割以下は D、E とする。					
その他	特になし					